



写真: 枯れ葉にまぎれるシロハラ (撮影: 平成26年12月23日)

「シロハラ」

冬の林でかくれんぼ

2017年は西年。野鳥の宝庫である霧島山では、えびの高原周辺でたくさんの野鳥が観察できます。冬の林内、やぶの中から「ガサガサッ、ガサガサッ」と音が聞こえます。しかし姿は見えません。まるでかくれんぼをしているようですが、その場で辛抱強く待っているのをたてた犯人が姿を現します。冬鳥のシロハラ。落ち葉をひっくり返してイモムシなどを一生懸命探しているようです。

秋になるとロシア等の北方から冬を越すために日本にやってきます。平地から山地まで広く見られます。林内で食べ物を探しています。冬も深まるとかくれんぼをせず、堂々と人前に姿を現すようになってきます。食べ物が少ないので、かくれている余裕はなくなるのでしょうか。

ハイキング中、やぶで物音がしたら、かくれんぼの始まりなのかもしれません。休憩がてらじっと観察してみましよう。冬にしか出会えない冬鳥シロハラが姿を現すかもしれません。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

シロハラ
Turdus pallidus

スズメ目 ヒタキ科

